

## アクセス コントロールとは <ACL . Access Control Level>

1. 設定の所在 : ホームダッシュボード > システム > グローバル設定 > パーミッション

### 2. アクセスコントロール とは:

#### 2-1) 目的:

- ① Joomla サイトで「利用者」に **View** (見える範囲) と **Action** (操作できること) を制御する。
- ② 利用者とは、大きく「フロントエンド」利用者と「バックエンド」利用者の二者に分けられる。
  - ・フロントエンド利用者とは: サイトへの訪問者、一般ユーザ、記事投稿ユーザ  
つまりこのサイトの記事を見たい、利用したい外部者です。
  - ・バックエンド利用者とは: サイト管理者、サイト運営者、システム権限者  
この Joomla サイトを管理・運営するサイト関係者です。
- ③ これらの利用者に、「最適」な **View** を表示し、「使い易い」操作を提示することです。

#### 2-2) 利用者のより細かい分類とその体系:

① 上記利用者への更に優れた View と Action を提供するために、Joomla では、下記のように利用者の細分類と体系化ができています。

#### ② 体系化 (重要)

・フロントエンドユーザ	——+	一般者 (Public)	
	+——	ゲスト (Guest)	<以上 View のみ>
-----			
	+——	登録者 (Registered)	<以下 View + Action>
	+——	作者 (Author)	
	+——	編集者 (Editor)	
	+——	発行者 (Publisher)	
・バックエンドユーザ	——+	管理者 (Manager)	
	+——	システム管理者 (administrator)	
	+——	スーパー管理者 (Super User)	

### 2-3) 権限表 (パーミッション) (重要)

• 所在: グローバル設定 > パーミッション

• 前項の各ユーザの権限 (パーミッション) の定義をする表です。 (下図はデフォルト値)

Public	アクション	新しい設定の選択	計算された設定
- Guest	サイトログイン	未設定	未許可 (デフォルト)
- Manager	管理者ログイン	未設定	未許可 (デフォルト)
⋮ - Administrator	Webサービスログイン	未設定	未許可 (デフォルト)
- Registered	オフラインアクセス	未設定	未許可 (デフォルト)
⋮ - Author	スーパーユーザー	未設定	未許可 (デフォルト)
⋮ - Editor	オプション設定のみ	未設定	未許可 (デフォルト)
⋮ - Publisher	管理画面にアクセス	未設定	未許可 (デフォルト)
- Super Users	作成	未設定	未許可 (デフォルト)
	削除	未設定	未許可 (デフォルト)
	編集	未設定	未許可 (デフォルト)
	状態の編集	未設定	未許可 (デフォルト)
	自分で編集	未設定	未許可 (デフォルト)
	カスタムフィールド値の編集	未設定	未許可 (デフォルト)

注) このパーミッション表の各項目の意味は、別稿を参照ください。

- 一例をとります。作者（Author）をクリックすると、表の右端の「計算された設定」欄がグリーン色であるアクション項目は、

「サイトログイン」  
「作成」  
「自分で編集」

この3ヶ所があります。

この3つの項目が、Author に許可された「アクション権限」です。

つまり、Author の権限は、「サイトにログインでき、記事が作成でき、かつ自分の記事は自ら編集可能である」と解釈されます。

Public	アクション	新しい設定の選択	計算された設定
- Guest	サイトログイン	継承	許可 (継承)
- Manager	管理者ログイン	継承	未許可 (継承)
:- Administrator	Webサービスログイン	継承	未許可 (継承)
- Registered	オフラインアクセス	継承	未許可 (継承)
- Author	スーパーユーザー	継承	未許可 (継承)
:- Editor	オプション設定のみ	継承	未許可 (継承)
:- Publisher	管理画面にアクセス	継承	未許可 (継承)
- Super Users	作成	許可	許可
	削除	継承	未許可 (継承)
	編集	継承	未許可 (継承)
	状態の編集	継承	未許可 (継承)
	自分で編集	許可	許可
	カスタムフィールド 値の編集	継承	未許可 (継承)

\*赤字の項目は「無許可（敬称）」になっているので権限はありません。

しかし、これは上位権限者の影響（継承）を受け、許可されるケースがあります。

## 2-4) まとめ（記事関連に絞ると）

この権限（パーミッション）表を丁寧に見ると、記事関係に絞れば、下表になります。

（デフォルト設定）

権限 ユーザ	サイト ログイン	記事作成	記事の 公開	記事編集	記事の状態 の編集*	自身の作成記 事の編集
Guest	—	—	—	—	—	—
-Registered	○	—	—	—	—	—
-Author	○	○	—	—	—	○
-Editor	○	○	—	○	—	○
-Pablisher	○	○	○	○	○	○

\*注：その記事に関する公開状態の編集設定—「公開開始日・公開最終日」等の設定ができる。

また、サイト管理・運営者グループには、記事に関する制限はないことが分かります。

-Manager	○	○	○	○	○	○
-Administrator	○	○	○	○	○	○
-Super User	○	○	○	○	○	○

(これもデフォルト値です)

### 3. アクセスコントロール = 権限の許可/不許可による階層化

#### 3-1) 権限の限定化

このように見てくると、アクセスコントロールとは、各ユーザグループに対する「権限の許可と不許可」の付与と考えられます。

具体的には、このサイトの記事掲載に関しては、

①記事を書くグループと、その②記事を編集・修正できるグループと、③記事を公開できるグループという役割の階層ができることを示します。

また次のような権限の関係も分かります。(注:いずれもデフォルト値です)

- **Author** は、自分の記事の編集はできるが、他グループの記事の編集・削除はできない。  
「作成」「自分で編集」項=ON (グリーン)、「削除」「編集」項=OFF (赤)
- 一方、**Publisher** は、記事の作成・自分の記事編集ができ、更に「編集」権があり他グループの記事の編集(修正)も可能です。  
「作成」「自分で編集」+「**編集**」+「**状態の編集**」=ON、「削除」=OFF  
「状態の編集」権もONなので、他のグループの記事も、その公開日などの記事状態も指定できます。

これらの権限の限定化と階層化は、上級者になれば、いつでも自由に再設定ができます。

#### 3-2) 効果

このような権限の限定化・階層化は、以下のような効果があります。

- 上記の記事の作成・編集の例で示すように、サイトの全記事には「記事の作成者(グループ)」の属性が付与され、それによって記事がコントロールされていることが分かります。(ほかにも様々な属性がありますが)
- そして、このACLの規定により、Author間での記事編集や削除ができないので、誤操作等による他のAuthorの記事内容の書き換えや削除のアクションは、制限されます。

例えば、多くの投稿者がいるサイトでは、これら投稿者を「Author」資格にすれば、他人の記事を誤って操作する（修正や削除等）ミスが防げる効果があります。

- 一方、権限の階層化については、権限上位のPublisherは、Authorグループ「全員」の記事をチェックし修正も可能で（削除はできない）、またその記事を公開もできる権限があります。

例えば、これは投稿された記事を、一度Publisherを経由してすべてチェックし、不具合のある記事をAuthorに差し戻し、サイトに掲載される記事をクリーンにできます。

以上